

呉市総合計画審議会第 1 回会議資料に対する意見等

(1) 資料 1 第 4 次呉市長期総合計画後期基本計画の改定（令和 2 年度版）について（報告）

ページ	内容
P 1 (資料 2 共通)	<p>2 令和 2 年度当初予算を反映したローリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 1 の「重点戦略 1 人づくり」「重点戦略 2 地域づくり」「重点戦略 3 都市づくり」の分け方と、資料 2 の「①働きやすさの向上（しごとづくり）」「②育てやすさの向上（ひとづくり）」「③暮らしやすさの向上（まちづくり）」の関係が必ずしも明確でないような気がする。項目の中身が一部異なる場所に配置されているものがあるように見える。ただし、資料 3 においては資料 2 の分け方だけになっているので問題は無いが。
P 1	<p>第 4 次呉市長期総合計画後期基本計画の改定（令和 2 年度版）について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第 4 次呉市長期総合計画後期基本計画」（令和 2 年度版）について、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえて、柔軟な施策の運用を行うことを盛り込むべきかと考えます。
P 1	<p>2 令和 2 年度当初予算を反映したローリング</p> <p>(1) 重点プロジェクトに追加した事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「重点戦略 2 地域づくり」の中の下から 2 番目の「企業立地の推進（呉市企業立地条例に・・・）」の 7 億円という数字は金額が大きいが、「重点戦略 3 都市づくり」の中の 1 番目「情報通信格差解消のための光通信回線整備」に 1 億円くらい移すことにして、もっと一気にこの整備を進めてどの地区も情報が効率よく活用できるようにすることで呉市全体がより早く活気づけられるように思う。
P 1	<p>2 令和 2 年度当初予算を反映したローリング</p> <p>(1) 重点プロジェクトに追加した事業等</p> <p>○重点戦略 3 「都市づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人住民を対象とする相談体制を強化する事業は、とても重要と考えます。人口が多いベトナム語での相談体制を早急に整えなければならず、少数言語についてのオンラインでの相談業務の協力者を確保しておく必要があります。 また、相談に対してより迅速にきめ細かく対応できるよう、関係部署・団体等との連携体制を整えることが重要で、例えば行政書士会の無料相談会を巻き込んでいくといった、より具体的な連携が必要だと思います。 個別の相談を解決することに留まらず、情報共有と全市的な課題解決に向けての事業提案ができる相談窓口事業を展開していただきたい。
P 1, 3	<p>2 令和 2 年度当初予算を反映したローリング</p> <p>(1) 重点プロジェクトに追加した事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜スポーツ参加意識＞オリンピック延期の影響をしっかりと考えるべきだ。
P 3	<p>第 1 項 未来を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 長年、地域で子どもの居場所づくり・学習支援を実施してきた。団体の支援や連携が不十分なので進めてほしい。 今回、学校長期休業の中、対面での支援ができない状態になりオンラインでの支援を始めたが、そのための環境が整っていないことを強く感じた。また支援の新たな形でもあるから、環境づくりの要素として取り組んで欲しい。

<p>P 3 (資料 2 P15 共通)</p>	<p>第1項 未来を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合」が既に9割近くになってきており、さらなる改善の為には、「楽しく思わせる」というプラス面の支援によって1～2%押し上げる目標に代わり、数値目標としての最終結果は同じになるにしても、視点を180度変えて「楽しいと思っていない」児童・生徒を1～2割削減する問題解決型の目標設定や手法も検討してみるのはいかがでしょうか。 ・社会に出て独り立ちする時期が近づきつつある中学生の「将来の夢や目標を持っている」割合が全体の4分の3強しかないことに着目した具体的な施策の策定を早急に進める必要があると思います。
<p>P 3</p>	<p>第1項 未来の担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1項 未来の担う人材の育成」の今後の方向性について、地域の将来を考えると、若年層に対し呉を愛する郷土愛の醸成という視点、施策が必要だと思います。
<p>P 4</p>	<p>第2項 市民の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康であると感じる」のは肉体的な要素だけでなく精神的な面も大きく影響する主観的な指標であり、また、健康寿命は達成度の検証に必要な統計データの数値が資料を見る限り2年遅れでしか入手できていないようなのでPDCAサイクルをタイムリーに回すのは難しく、いずれも数値目標としては運用しづらいのではと思います。また、重点戦略としては「健康づくり」の推進であり、「重点的に取り組む事業」の中に「運動習慣の定着」が入っているので、「健康である」という多分に主観性が強い「結果」を目標にするのではなく、「健康づくり」をするという「努力行為」の時間や回数を増やすことを目標にする方が客観的な数値目標が設定しやすく、PDCAサイクルも効率的に回しやすくなると思います。
<p>P 4</p>	<p>第2項 市民の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で生きがいや役割を持って生活ができるよう高齢者でも自分のできる事を積極的にしてそのボランティアを貯金として貯めておいて将来自分が世話になる時に使用できるようなシステムにする。
<p>P 5</p>	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加している市民の割合が示されているが、地域活動のイメージは人によって異なると思うので、アンケート調査をする際に、具体例を示した方が良いのではないかと。 (例. このページの最後の表などは分かり易い https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo2/siryou/020601bb.htm) ・「関係人口」の記述があるので、今後その評価についても考えると良いのではないかと。 (例. 「地域活動に参加している市民の割合」→「地域活動に参加している市民・関係人口」) ・地域活動の担い手確保のところに外国人の記述があったが、普段から地域の祭りなどを通じて、外国人住民と交流しておくことが、防災対策にもつながるという指摘もあるので、そういった観点からも地域活動のあり方を今後見直していく必要があるのではないかと考える。

P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「重点戦略1「人づくり」」のなかで、「1 未来を担う人材の育成」, 「2 市民の健康づくりの推進」については特に重要であると感じるところ, 「3 地域協働によるまちづくりの推進」は「重点戦略2「地域づくり」」に新たな項を立てるという整理もありうるのではないのでしょうか。 ・高齢者や事業者の一部には地域活動によるメリットやニーズが高いことは考えられるが, サラリーマン世帯・子育て世帯にとっては, 仕事をした上で, 育児や身内の介護などに加えて, 地域活動への参加を求められることは過重な負担に映る向きもあるのではないのでしょうか。 ・地域活動の活性化について, どれくらいの地域住民が期待しているのか調査してもよいのではないのでしょうか。
P 5, 7, 8	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿の欄にある各年度の実績が総数で表されており, 資料として理解しにくい。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献したいと考えている外国人住民は多いが, その機会に恵まれる人は少ない。きめ細かく情報提供し参加しやすい手立てをとって, 社会参画を促していただきたい。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市に愛着を感じている市民の割合」が高くなっていることは非常に喜ばしいことではあるが, 必ずしも「地域協働による」とは言い切れないので, 「地域協働」そのものである「地域活動」の参加率を高めることをもっと考える必要があると思います。「市職員」も多くは「市民」でもあるので, まずは一番身近にいる「市職員」が「市の仕事」としてではなく「市民の一人」として地域活動に参加したくなるような具体的な施策案をアンケートなどで募集してみるのはいかがでしょうか。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第3項 地域協働によるまちづくりの推進」の今後の方向性について, K P Iの大きな未達を考えると, 広い周知が必要であると共に, やっていける安心感を与える具体的な環境(衣食住)の説明が不足しているのではないかと考えます。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加する割合が低い, まちづくりセンターを活用し, 魅力ある活動方法を考えたい。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加している市職員の割合について, 現役の時には平日など時間が取れないと思うが, 退職後は是非自治体活動に積極的に関わってほしい。自治会役員も高齢になり, 地区内の自営業の人がいつも自治会内にいるということで, 仕事と兼ねて役員をしているので関わっていただけると助かる。 ・個人情報保護の観点より, 新1年生などの情報も分からないので, 自治会には住民情報が分かるようにしてほしい。
P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿(目標)の地域活動に参加している市民の割合, 地域活動に参加している市職員の割合の目標数値が38.6→60, 38.9→60と1.6倍。(倍近い設定) 気持ち(愛着感)のレベルと行動(地域活動)に移せるかどうかを考えるとこれまでの推移を踏まえても高い数値の設定だと思いました。

P 5	<p>第3項 地域協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第3項 地域協働によるまちづくりの推進」に取り組む主体（市民・市職員及び関係団体）を育成し、その支援を担う市役所職員以外の専門職（あるいは専門機関）が実施する活動について具体的に定めておく必要があると考えます。その前提として、「支援を担う専門職（あるいは専門機関）」を明確にしておくことも必要であると考えます。 ・「第3項」を強化していくべきと考える理由は、「地域協働によるまちづくり」は市政の基盤であると考えからです。特に、【重点戦略1】「第2項」の事業にあげられている「(1) 健康づくりを支える地域ぐるみでの運動習慣の定着」、【重点戦略2】「第1項」の事業にあげられている「(1) 地域防災力・防犯力の強化・充実」、【重点戦略3】「第2項」の事業にあげられている「(1) 定住・移住の促進」などの事業を推進するためには、その前提として、すべての市民が安心して、豊かに暮らすことができるまちづくりを市民の参加・参画によって推進することが不可欠です。
P 6	<p>第1項 安全・安心な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害に不安を感じる市民の割合」は減る方が良いのだろうか。大きな数値であるのも困るが、危険性は皆無にはならないはずなのに極端に小さくなることもあるのも良くないはずで、ある程度の数値で維持される方が良いのではないかとも思う。 ・また、「安全・安心な生活環境の確保」のためには町の構造についても変えられるところは変えていくことを考えてみるのも必要ではないかと思われる。「避難経路の確認」だけでなく、「避難しやすい経路の創造」も必要だから。
P 6	<p>第1項 安全・安心な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人への災害時の情報伝達方法の改善も重要な防災対策であるので、これについても今後言及して頂きたい。（例 「やさしい日本語」での情報発信を開始した。）
P 6	<p>第1項 安全・安心な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災力の強化のため地域全体（学校、職場、家庭）で一斉避難訓練をし、地域の住人の安否を確認できるシステムを強化する。
P 7, 8	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿（目標）の項目が「新しい・・・」となっているのに、各年度の単位が総数で示されているので、見た目にはわかりにくい。一方、資料2での「新規・・・」では、増加数のみ記載されていて、見た目にはわかりやすい。統一をされるべし。
P 7	<p>第2項 産業競争力の更なる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大和ミュージアム来館者の市内回遊率」の向上は観光スポットや店舗などを紹介する広報宣伝活動だけでは難しいと感じており、スタンプラリーなどの市内を回遊したくなる具体的なモチベーション向上策が必要だと思います。 また、バイクシェアリングを誘致できると大和ミュージアムから市内を回遊する人が増やせるかもしれません。大和ミュージアムのレンタサイクルもございますが、必ず大和ミュージアムに戻って来なければならないのが難点かもしれません。 ・ものづくり産業の振興に関しては、新型コロナウイルス感染症によって基幹部品の輸入が滞ったこともあり、製造の国内回避が起きる可能性が高いので、呉市内の中小の製造業が裾野を広げ打って出られるような積極的な財政的支援を検討する価値があると思います。縮小均衡時の守りの財政支援は得てして延命にしかならないことも多いですが、危機的な状況の中での「攻めの」財政支援こそ公の出番だと思います。

P 7	<p>第2項 産業競争力の更なる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光の掘り起こしをし、呉市内の酒蔵、屋台、青山クラブ、美術館など市内中心部を街歩きできる環境づくり。島めぐりができるアクセスも充実したい。
P 7	<p>第2項 産業競争力の更なる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（提案）観光振興計画に当たっては、ブランディングやマーケティング面だけでなく、新型コロナのような不測の事態に備えるためにも、リスクマネジメント面も強化していく必要がある。
P 7	<p>第2項 産業競争力の更なる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・＜年間入込観光客数＞コロナの影響をしっかりと分析してほしい。
P 8 (資料2 P 7共通)	<p>第3項 産業を支える人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食品の安全性」は消費者意識基本調査の「関心のある消費者問題」でトップを占めており、また、新型コロナウイルス感染症によって輸入に頼ることの危険性が露わになり、国内の農業や漁業への関心は高くなってきていると感じています。呉市は島しょ部も多く、農業や漁業のポテンシャルは高く、より大きく伸ばせると思います。どのような職業も若い時に「カッコいい」と思って（勘違いして）飛び込んでしまったり、流れに身を任せてある種致し方なく消極的に辿り着いた人も多いですが、それでも結果的に大成している人を多く見かけます。農業・漁業への就労支援は、ネットで自然との共生の魅力を訴えるとともにクラウドファンディングなどを活用して収入の安定化や農地の確保、漁獲量の減少などへの対応が行えるような施策を策定していくのはどうでしょうか。
P 8	<p>第3項 産業を支える人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第3項 産業を支える人材の確保・育成」の目標について、K P Iに掲げる農業や漁業も大切だが、呉地域の特色である製造業や将来必要になるインフラである運輸通信業などにもスポットを当て検証・分析する必要があると考えます。
P 9	<p>第1項 高次都市機能の強化・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯に衣着せぬ言い方になるが、比較すること自体が申し訳ないと思ってしまうぐらい公共交通機関の密度が東京や大阪に比べ圧倒的に疎なので、車での移動の利便性向上の方が街の活性化に効果があるのではと感じています。駐車場を増やすのは用地確保的に難しいかもしれませんが、呉の市街地は比較的道が広いので、モバイル技術を活用した路上パーキングの導入なども検討してみるのはいかがでしょうか。欧米の都市などでは携帯電話で駐車料金を支払うことによりパーキングメーター等の物理的なインフラに費用を掛けず低コストで運用しています。アプリ等を地元で開発することにより産業の振興策にもなり、商店等の利用活性化や車による観光客の誘致にも繋がると思います。
P 9	<p>第1項 高次都市機能の強化・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の新型コロナウイルスの感染拡大で、公共交通の事業者の経営体力が随分と弱ることとなった。もともとドライバー不足であったような状況で、この危機であり、公共交通の供給を確実に確保するための施策にもっと踏み込んでいくべきと考えます。そうすると、「令和2年度以降の方向性」の記載事項では、3つ目の箇条書きの内容は、もっと踏み込んでいくべきと考えます。（今後の検討にあたって）
P 9	<p>第1項 高次都市機能の強化・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・＜令和2年度以降の方向性＞駅前開発の方向性をもっと具体的に明示すべきでは。

P10	<p>第2項 魅力ある住生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2) 空き家の有効活用に関して、登録されていない空き家が空き家バンクに登録され、活用される指標になるのは結構だが、空き家が増えているというネガティブな実態にどんな有効活用がされたのかが重要である。 ・「空き家バンク登録物件の成約件数」という表現は、登録物件自体の増加を目標にしていると誤解を与える恐れがあるため、次期計画策定においては、もっと分かりやすい表現としていただきたい。
P10	<p>第2項 魅力ある住生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性という観点からは、呉の市街地と雖も東京や大阪に比べたら圧倒的に不便だと言わざるをえませんが、逆にいうと、呉の市街地も島しょ部も東京や大阪に比べたら同じぐらいとっても不便なので、同じ住むなら自然環境に恵まれた風光明媚な島しょ部の方に魅力を感じる人を多く見受けれます。しかし、島しょ部の物件の整備（補修・改修）は市街地より時間や費用が掛かることが多いとの印象もあり、近隣の支援体制が見え難いのが懸念点ともなっています。テレワークなどが一定レベルに定着する機運があるので大都市から島しょ部に人を呼び込む様々な施策を検討するいいタイミングだと思います。

(2) 資料2 呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定（令和2年度版）について（報告）

ページ	内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・合併町など地区ごとのデータがないので分かりにくい。きめ細かいデータを望む。
P 1	<p>呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定（令和2年度版）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年度版）について、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえて、柔軟な施策の運用を行うことを盛り込むべきかと考えます。
P 1	<p>2 令和2年度当初予算を反映したローリング</p> <p>(1) 追加・拡大した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①しごとづくり」の中の「企業立地の推進」も確かに大事だが、全ての地域住民の生活の質向上につながる「③まちづくり」の中の「情報通信格差解消のための光通信回線整備」にももっと力を入れるべきであると思う。日常生活にはもちろん、教育上も、防災上も利活用できるようになれば、整備されたどの地域においても新たな利用者・活用者が現れると思う。
P 3	<p>【基本目標1】働きやすさの向上（しごとづくり）</p> <p>(1) 「呉らしさ」を活かした雇用創出の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転出超過数をこの指標に使うのは無理があると思う。起業・創業の社数や企業の立地数など、雇用の創出と相関関係のより強い指標を用いた方がいいのではないかと？
P 4	<p>(2) 具体的方策 ア 産業の競争力強化</p> <p>(7) 農水産品のブランド向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民にまずは認知してもらうことが先決だというのは分かるが、競争力のある産物も多いので市外へのプロモーションと効果測定(目標設定)も並行した方がいいと思います。

P 5	<p>(イ) ものづくり技術の高度化促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィスの誘致を行うにあたって、同時に賃貸住宅や週単位ないしは数ヶ月程度の中長期滞在可能なウィークリーマンション等が増えるような施策(税制優遇等)も必要だと思います。
P 6	<p>(ウ) サービス産業の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在の期間や回数が増えると魅力的な飲食物や場所を多く知るようになったが、これから訪問する人や大和ミュージアムなどの著名な場所に来た人が直ぐに知るの難しいと感じた。呉の食文化の紹介や地元の人たちのおすすめスポットの紹介など、単なるカタログだけでなく市民の普段の生活との関連や思い出等のストーリー性のある紹介も必要なのではないかと思いはじめています。カタログ的な紹介だと表面に触れる程度になり、他の地域との差別化が難しいが、物語(ストーリー)的に紹介すると興味を深め差異化もしやすいと思います。
P 6	<p>(ウ) サービス産業の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(意見)クルーズ船の誘致を考える上で、経済的な効果だけでなく、地域社会や環境への影響など多面的かつ慎重な検討が必要。
P 7	<p>(ア) 新規農業・漁業就業者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農支援について、制度の周知を移住促進のイベント等でも行うとともに、農業や漁業の体験をし易い環境の整備も必要ではないか。農業や漁業は、食料の生産だけでなく、呉市の観光の目玉の一つでもある島しょ部などの景観の保全や生物の生息環境や災害対策にもつながっている(生態系サービス)という広い視野に立った広報戦略も今後必要だと考える。
P 7	<p>(イ) 多様な事業者との連携による商品化等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標として商品化等の品目数より商品点数や販売数量の方が具体的な売り込み先や拡販策を考えやすいと思います。
P 7	<p>イ 人材の発掘・育成</p> <p>(ア) 新規農業・漁業就業者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イ 人材の発掘・育成」の今後の方向性について、呉へのU・Iターン者への助成などの具体策の実施と共に、短期の離職者を防止するためのその後のフォロー(当事者同士のカフェの開催等)も必要だと考えます。
P 8	<p>(イ) ものづくり人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりは物理的な物を作るだけでなく、生活様式を改め利便性を高めるモノ(手段)が高い付加価値を持ちあらゆる場所で雇用を創出しています。無償で子どもたちにプログラミングというITによるものづくりを教えるCoder Dojoが呉市役所でも開催されるようになってきており、また、製造業の競争力向上にもITは重要な役割を担っているので、ものづくり人材の育成の施策の中心にIT教育を据えるのはどうでしょうか。
P 9	<p>(ウ) サービス産業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の欄にリノベーションまちづくり事業による人材の育成に関する数値化目標(参加者数、または事業化数)を示しても良いのではないかと思います。

P 9	<p>(ウ) サービス産業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家などの遊休資産のリノベーションに合わせて、宿泊所などに活用した時のハウスキーピングや施設管理などのサービスを実現する人材の育成など、女性や高齢者が活躍できる施策も検討するのはどうでしょうか。
P10	<p>ウ 情報発信の強化</p> <p>(ア) 呉らしさの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市内に就職した地元高校生の割合」をこの指標に使うのは相関関係が低すぎると思います。雑誌の記事に呉市関連の情報が取り上げられたページ数とか、呉市を検索してヒットするインターネット上のブログ等の数などを指標にする方が情報発信の効果測定に向くのではないのでしょうか。
P11	<p>【基本目標2】 育てやすさの向上(ひとづくり)</p> <p>(1) 子育て・子育てしやすい環境づくりの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てがしやすいから子どもを産むというより、子育てがしやすいから離れないまたは移り住んでくるという可能性の方が高いと思われるので、指標として年間出生数より子どもないしは子持ち世帯の転入転出数を指標にするのはどうでしょうか。 <p>(2) 具体的方策</p> <p>ア 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援</p> <p>(ア) 結婚の応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの個人的な経験でしかないが、結婚して幸せな家庭を築いている人が近くにいると自分も結婚してみようかなと思って踏み切りをつけて結婚する人たちが多かったので、単に出会いの場を提供するだけでなく、結婚して呉市内で幸せに暮らしている人達をロールモデルとして紹介するのはどうでしょうか。呉版の新婚さんいらっしゃい。
P11~14	<p>【基本目標2】 育てやすさの向上(ひとづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P11「(ア) 結婚の応援」の評価は◎であるが、それ以降のP12「(ウ) 子どもの健やかな育ちの応援」の評価は△。P13「(エ) 子育て世代包括支援センターの整備」の評価△。P14「イ 子育て支援 > (ア) 子育て家庭の応援」の評価も△となっていますが、できれば一貫しての follow 体制でなければ次世代育成体制整備強化につながらないと考えています。P12 以降の事業強化をお願いします。
P12	<p>(イ) 妊娠・出産サポートの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援プランの提案に関してインターネット上を検索しても情報がなかなか見つけられなかったため、折角実施しているのでしたら呉市の妊娠・出産サポート体制をアピールするためにももっと情報発信を行ってもいいのでは。 <p>(ウ) 子どもの健やかな育ちの応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援アプリの利用率や子育て支援のホームページ(くれ子育てねっと)の閲覧数などを指標にした方が利用実態を把握しやすいと思います。
P13	<p>(エ) 子育て世代包括支援センターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中にストレスをまったく感じなくすることは非常に難しいと思われるので、ストレスを感じるものの有無より、ストレスの軽減に役立てたかどうか、各種相談のフォローアップをして問題解決に効果的だったかどうかの割合を目標にするのはどうでしょうか。

P14	<p>イ 子育て支援</p> <p>(7) 子育て家庭の応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育実施施設数の増設が何年も達成できていない現状を踏まえ、問題解決の手法を改め、視点を変えて、施設数を増やすのではなく、病児保育可能なベビーシッターを増やす施策を考えるのはどうでしょうか。
P15	<p>ウ 教育環境の充実</p> <p>(7) 小中学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が地域とつながり、地域のために何ができるかと思うときに地域の伝統文化・芸能を継承していくことが大切だと思う。それが呉を愛する気持ちに繋がると思う。 ・新型コロナで教育も変化していくと思うが、タブレット等の活用を推進していくことが大切だと思う。
P16	<p>(4) 高等学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設定の目標達成率が高いので、令和2年度以降の方向性に記されている「希望する進路を実現できる」ことを次の目標に据えるのはどうでしょうか。
P16	<p>(4) 高等学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(4) 高等学校教育の充実」の今後の方向性について、郷土呉に関心や愛着を持つ教育施策（レジェンドの講話や社会・事業所見学等）を取入れることが必要だと考えます。
P16	<p>(4) 高等学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉高等学校のみが呉市内で唯一の呉市立なのでしかたないのかもしれませんが、呉市内の県立高校も、呉市内の高校生が多く通学するので県立高校の学生にも同じような「夢へのチャレンジ応援事業」があるのか分からないが呉高等学校のみの学生を対象としてほしくない。
P17	<p>(1) 魅力的な住生活環境創出の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市を住みよいと感じる市民の割合」について、幼児を育てる身として、緊急時に近く（車で30分程度）の病院で診てもらえるかどうかは、非常に重要である（子供の命を救えるかどうかはとても重要なポイントである）。 ・外国人市民との交流の機会を増やすことは、異文化理解の促進につながり、さらに外国人市民の居場所の創出にもつながると考えられるので、今後、このような観点での街づくりも評価していけると良いと考える。
P17	<p>【基本目標3】暮らしやすさの向上(まちづくり)</p> <p>(1) 魅力的な住生活環境創出の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を達成できなかった原因分析として、現時点において住みよいと感じない理由を呉市ホームページでのアンケートなどで調べ、今一度施策を見直す方がいいのでは。 <p>(2) 具体的方策</p> <p>ア 総合的な定住サポート</p> <p>(7) 定住・移住サポート機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住サポートセンターのwebページは情報も多く、読み込むと呉市への移住がとっても魅力的に感じられるのですが、見た目が地味なので専用のホームページを作ってもいいのではと感じました。

P17	<p>【基本目標3】暮らしやすさの向上（まちづくり）</p> <p>(1) 魅力的な住生活環境創出の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ここで挙がっている指標が、果たして周辺の都市と比較してどのような状況なのか、例えば、呉を含めた広島周辺の都市の状況と比較しておきたい。（資料に反映する必要はないと思いますが、他都市との比較、呉市のポジションを意識しつつ、個性を出していく必要があるように感じます。）
P18	<p>イ 定住・移住促進</p> <p>(7) 定住・移住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> テレワークなどが一定レベル定着する機運があるので大都市から呉市に人を呼び込む施策を検討するいいタイミングだと思います。既に呉市に移住してきている方を交えて、広島市・関西・関東などで移住に興味のある人向けに低予算でいいので交流会などをこまめに行うのはどうでしょうか。IT業界では地方への移住を真剣に考え始めている人たちが大幅に増えています。
P19	<p>(イ) 空き家の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「呉市空き家バンク 物件一覧」のwebページで写真のない物件が多くあり、一見閑散とした印象を受けるが、よく見ると成約物件や取下物件だったりするので、見た目を良くするために成約物件や取下物件を別の箇所にまとめて表示するか、新たな持ち主がいるので全ては難しいかもしれませんが可能であれば成約物件のビフォーアフターの写真等を掲載すると移住の成功イメージが得やすいのではないかと。
P20	<p>ウ 生活環境の充実</p> <p>(7) 健康寿命の延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2に基づく呉市の平均寿命と健康寿命の差は非常に小さく、健康な余生を過ごすには優れた場所のように見受けられるが、なぜそうなっているかの要因が分かりにくく、また、平均寿命（特に男性）が他地域と比べて短い点も気になる。真剣に日本一を目指すためには一般的な運動や減塩・飲酒やタバコを控えること以外に市民が何をしたらいいのかの具体的な目標が提示できるといいのでは。何が呉市を優れた状態にしているのかの理由が分からないので移り住むモチベーションを掻き立てる力が弱い。
P20	<p>ウ 生活環境の充実</p> <p>(7) 健康寿命の延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(7) 健康寿命の延伸」の今後の方向性について、予防施策の重要性を意識した施策（減塩生活や気軽な健康体操の普及等）をもっと実効すべきだと考えます。
P21	<p>(イ) 地域生活拠点の機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会の全体像がわかるwebページは検索すると見つかるが、パンくずリスト（トップページ > ボランティア・地域コミュニティ・市民協働 > 市民協働 > まちづくり委員会・協議会）にある「ボランティア・地域コミュニティ・市民協働」から「市民協働」を選択すると「トップページ > 暮らしの情報 > 市民協働」にある更新情報の一覧に辿り着き、その中の「2017年6月1日更新 まちづくり委員会・協議会（地域協働課）」を選択しないと全体像が分かるページには行かない。市民の参加を促すために、更新情報の一覧だけでなく、地域協働の全体像や参加方法を前面に打ち出すようなページの構成にした方がいいと思います。

(3) その他の資料に対する意見

ページ	内容
資料3 P 1	・次期基本構想の資料が形になる際は、理解を得やすい様にイメージパースとテキストを組み合わせた手法を取り入れて欲しい。(呉ワンダーランド構想の資料の様な)
資料4 P 2	1 人口動向 (2) 呉市の動向 ・文章の中では社会動態の数値(1,200人)だけが記載されているが、自然動態(1,900人)や肝心の総人口の減少(3,100人)が記載されておらず(図表から認識)、文章全体が判りにくいと思う。また、減少率があれば認識しやすいと思う。
資料4 P 6, 7	3 経済の動向 ・全国的な動向にコロナウイルス感染の経済への影響、呉市の動向に地元有力企業の閉鎖問題が記載されていないことに違和感がある。 原案作成時期の関係だと推察するが、完成後に多くの人が読むことを考えると、触れた方が良いと考える。
資料5 全ページ	・主な取組と成果の内容が読みにくいので、何をしたのか、行動の部分はテキストで結構だが、実績に関する数字の部分は図解またはグラフで表して欲しい。 ・課題の部分に具体性を感じないため、課題を掴み切れていないという感想。主な取組と成果の項目毎に課題を明確に挙げるべき。
資料5 P 3, 14	・官(学)民が連携し公共空間の利活用でまちのにぎわいづくりに着手している事例・実績があるのに、勿体無いと感じた。